



にじ 畑中昌子 議員
が問う！

夏の観光シーズンに向けて
大洲松川線の開通を!!

令和4年3月福島県沖地震
災害からの復旧について

2011年3月の東日本大震災の津波で損壊し、7年を経て再開した大洲松川線が地震災害による道路の損壊で再度通行止めになっている。観光名所であり、私たちが市民の原風景の一つとなっている大洲松川線の開通は市内外の多くの人々が心待ちにし望んでいる。開通の見通しはいつ頃になるのか伺う。

Q. 市道大洲松川線の開通見通しについて伺う。

A. 開通見通しは、今後、国の災害査定を受けて復旧範囲と方法が確定となり、その後、復旧事業



にじ 門馬優子 議員
が問う！

安心して受け止めてもらえる
場所が必要とされている!!

ひきこもり支援について

ひきこもりに対する地域社会の意識が低いことから、当事者や家族だけで悩みを抱え込んでしまうことが多い。今後8050問題から9060問題へと発展していくことが懸念されるため、当事者や家族に寄り添った相談窓口を開設するべきと考え、質問する。

Q. 現在の状況と課題について伺う。

A. 市は、生活困窮者自立支援法に基づき自立支援策を推進するため、平成27年4月から市生活サポート相談センターを市社会福祉協議会に委託して



にじ 杉本智美 議員
が問う！

地震災害で凹凸が凸凹
なっている道路の修繕を!!

道路整備について

福島県沖を震源とする地震は市に大きな被害をもたらした。公共インフラも大きく被害を受けており、その中でも道路整備について今後の予定などを伺う。

Q. 地震災害による凹凸の修繕について伺う。

A. 市は、令和4年3月福島県沖地震の対応として、定期的なパトロール等で発見した下水道マンホール等の段差について、アスファルトでのすり付け等の応急復旧やマンホールの切下げなどによる本復旧等の対策を順次講じている。

その他の質問

○ 防災備蓄体制について
○ チャレンジショップについて



業に着手することになる。県管理の堤防も大きな被害を受けており、現段階ではまだ復旧完了見通しを明言することは困難である。
市としては、同市道が市の観光産業に重要な役割を果たしている路線であることから、今後も県と調整を重ね早期復旧に向けて努めていく。

Q. 市内、民宿・旅館の現状と再開に向けた市の支援の考えについて伺う。

A. 市は、宿泊事業者が、新型コロナウイルス感染症の拡大により、長期にわたり非常に厳しい経営状況にあったことから、事業の継続を支援するため、新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金を活用し、4月1日時点で営業を再開している10の事業者に対し1事業所当たり50万円、営業が再開できていない26の事業者に対し1事業所当たり100万円の宿泊業維持支援金を交付している。

また、市は、地震被害を受けた中小企業者が再建するには多額の費用がかかることが予想されるため、中小企業等グループ補助金が適用になるよう国に対して強く働きかけ、併せて①定額補助の対象範囲を緩和すること、②地震保険等の保険金を補助金額から差し引かないようにすること、③復旧に際し原形復旧のみでなく補強や耐震の工法も可能とすることなど、制度の改正も要望し、結果として要望が反映された補助金制度の対象地域となったところである。

その他の質問

○ 第7次福島県総合教育計画
に基づく取り組みについて



A. 市は、市内の民生委員及び市社会福祉協議会と連携し、ひきこもりの実態把握に努めるとともに、引き続き市生活サポート相談センターにおいて相談を受け付け、必要があれば医療機関や福島県が設置する専門機関、県ひきこもり相談支援センター等の関係機関と連携し支援していききたいと考えている。

Q. 今後の取り組みについて伺う。

令和3年度と同センターへの相談実績は新規件数が262件、そのうちひきこもりに該当するもので家庭訪問等のアウトリーチを行った件数が3件となっている。ひきこもりについては、家庭内のデリケートな問題で表面化しにくく、また、臨床心理士等の専門家による判断が必要な場合もあり、市は、その実態を把握することが課題であると捉えている。

その他の質問

○ 交流人口拡大について



小泉字高池地内

市としては、今後も定期的にパトロールを行い、異常を発見した際は適切な対応を取ることによって市民の安心安全の確保に努めていく。
A. 市は、定期的なパトロール及び行政区長等からの報告により道路施設の確認を行っている。その中で、雨水滞水が著しい箇所市道について、路面のわだち等のくぼみはアスファルトのすり付け等で道路の平坦性を確保し、また、歩道の緑石ブロック周辺については、排水口周辺の清掃や新たな排水口の設置などの対策を講じている。
また、県管理部分については、県が道路の形状や雨水排水口の点検などについて、道路の交通量に応じた道路等の道路パトロールを行っており、道路施設の異常の有無を確認している。